

2019年度
(平成31年度)

事業計画書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

2019年2月22日

東京都品川区大崎一丁目2番2号
アートビレッジ大崎セントラルタワー
公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団

2019年度事業計画書
(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

医工計測技術分野における先導的技術開発、技術の交流等を促進し、また人材を育成することによって、医工計測技術の広汎な発展を推進し、我が国ならびに国際社会の発展及び生活の向上に寄与することを目的とし、次の事業を行うこととする。

【1】 医工計測技術分野における技術開発に対する助成

医工計測技術分野における先導的技術開発活動を促進するため、これに助成を行う。

【研究開発】

医工計測及び関連技術の研究に対して、公募によって申請のあった研究について、必要資金の全部または一部を助成する。

開発研究助成　：最大 400 万円/件　（助成予定件数　20 件）

奨励研究助成　：最大 200 万円/件　（助成予定件数　40 件）

注) 奨励研究助成に関しては、募集要項の年齢制限を 35 才以下から 40 才以下に、助成期間を 1 年間または 2 年間に変更。

【特別研究】

医工計測技術分野において基盤となる開発研究を一層発展させることにより、卓越した成果が期待でき、かつ実用化が見込まれる研究成果の創出に資する研究に対して助成する。

特別研究助成　：2 年間で最大 3,000 万円　（※初年度最大 2,000 万円可）
（助成予定件数　3 件）

【長期大型研究】

医工計測技術分野のさらなる発展のため、国内外の研究人材交流による先進的な研究や既存の枠を超えた融合的な研究により将来的に新しい技術や学術・応用分野を切り開くための基盤を生み出すと同時に、次代を担うグローバルに活躍できる若手研究者の育成に資する長期の大型研究に対して助成する。

長期大型研究助成：最大 6,000 万円/年（最長 5 年間）
（累計助成金額　3 億円）
（助成予定件数　1 件）

【留学プログラム】

海外留学	: 1 件	25 万円/月 (最長 2 年間)
		(採択予定者数 8 名)
日本留学	: 1 件	20 万円/月 (最長 2 年間)
		(採択予定者数 4 名)

【4】 医工計測技術分野における技術動向等の調査研究に対する助成

医工計測技術分野における技術の発展を促進するため、技術動向等に関する調査研究に対して、必要資金の全部または一部を助成する。もしくは、財団として将来重要と思われる技術テーマの調査事業を公募、又は委任する形で調査研究を行う。

調査研究助成：1 件 最大 300 万円
(助成予定件数 5 件)

【5】 医工計測技術に関する情報の収集及び提供

医工計測技術に関する情報文献、資料等を収集整理し、その広範な利用を図るための活動を行う。

- ・ 医工計測技術関連の情報については広範な利用を図るため、当財団の研究助成事業、表彰事業、技術交流助成事業、調査研究事業等、財団の事業活動を取りまとめて「年報 33 号」を作成し、広く関係機関に無償提供する。
- ・ 当財団の研究助成事業、表彰事業、技術交流助成事業、調査研究事業等、財団の事業活動等で得られた医工計測技術の情報を HP のアーカイブで公開し、広く情報提供を行う。
- ・ 当財団の研究助成事業、表彰事業、技術交流助成事業、調査研究事業等、財団の事業活動等で得られた医工計測技術の過去、現在、未来の動向を調査し、重点領域を抽出し、当財団の諸事業の目的達成の一助とする。
- ・ グローバルな活動を行っている他財団の組織、活動方法、活動計画等を調査し、中谷財団の将来の活動戦略を構築するための一助とする。

【6】 科学教育振興に対する助成

- 【6.1】 科学技術者の裾野拡大を目的として、小学、中学、高校等の教育における科学振興のため、公募によって申請のあった対象先の教育機関等に対して、必要資金の全部または一部を助成する。

【個別助成】

小学・中学・高校等教育機関 : 1件最大 30万円
(予定助成件数 63件)

【プログラム助成】

複数の学校等の教育機関や研究機関 : 1件最大 100万円/年 (2年間を限度)
(予定助成件数 1年目 16件)
(予定助成件数 2年目 12件)

【意欲的な小学校の先生方を支援するプログラム助成】

複数の学校等の教育機関や研究機関 : 1件最大 100万円/年 (3年間を限度)
(予定助成件数 1年目 9件)
(予定助成件数 2年目 2件)

【6.2】 日本の大学生(学部生)が海外の研究室で最先端の研究に触れる機会を提供するとともに、海外の学生(学部生等)を日本の研究室に滞在させて相互に交流する機会を提供し、将来グローバルに活躍する研究者を育成するため、公募によって申請のあった申請者(学生)に対して、渡航費・滞在費等の諸経費の全部または一部を助成する。また、国際学生交流プログラムの参加者で特に優秀と認められた日本学生若干名を、財団が選択した世界の著名大学の研究者の下にリサーチインターンシップとして派遣する学生に対して、渡航費・滞在費等の諸費用の全部または一部を助成する。

【国際学生交流プログラム助成】(中谷 RIES プログラム)

審査に合格した日本および海外の学部学生 (予定助成者数 各 12名)
: プログラム中の渡航費・滞在費等の諸経費の全部または一部を助成する

【国際学生交流プログラム助成】(アドバンスプログラム)

国際学生交流プログラムの参加者で特に優秀と認められた日本学生若干名
: プログラム中の渡航費・滞在費等の諸経費の全部または一部を助成する

【7】 奨学金の給付

医工計測技術分野および関連技術分野の博士号取得を目指す博士前期課程・博士後期課程の学生への支援を通じて、将来研究者として活躍できる優秀な人材を育成することを目的とした奨学金を給付する。

【大学院生奨学金給付】

返済不要の給付型奨学金を博士号取得までの最短期間給付する

大学院博士前期課程学生 10万円/月

大学院博士後期課程学生 15万円/月

(新規採択予定者 前期・後期課程学生 合計 10名)

以上